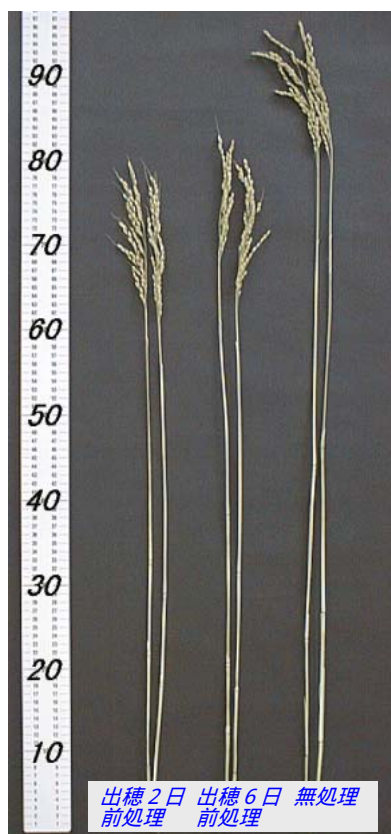


## 平成10年度成長調整剤使用基準に採用した水稻倒伏軽減剤

平成10年度成長調整剤使用基準に採用された「ビピフルフロアブル」は、出穂10～2日前の出穂直前まで処理可能であり、また、穂の出すくみ等薬害が見られず良好な倒伏軽減効果が期待できる。



## 1. 使用方法

イネの出穂10日から2日前の間に、動力式噴霧機等を用いて、イネの茎葉部に均一に散布する。一般的には走り穂が見えたら、散布適期である。

## 2. 効果

ビピフルフロアブルは、処理時に伸長しつつある節間に最も強く作用する。出穂10日から2日前処理では、上位節間（主に第2、第3節間）の伸長抑制効果が最も顕著に現れる（写真1、表1）。適期・適量処理によりイネの収量および収量構成要素（穂数、一穂粒数等）への影響はない。

## 3. 使用上の留意点

本剤は倒伏防止剤ではなく、基本的な倒伏防止対策（施肥管理や水管理）を行っても、倒伏が予測される場合に、倒伏を軽減させる目的で使用する。

写真1 節間伸長抑制効果（品種：ひとめぼれ）

表1 節間伸長調査結果（品種：ゆめさんさ 年次：平成8年）

区	処理日(出穂前日数)	節間長 (cm) (対無処理区比率(%))					合計	倒伏程度 (0～5)
		第1節間	第2節間	第3節間	第4節間	第5節間		
1	無処理	32.5(100)	19.5(100)	16.2(100)	10.4(100)	2.4(100)	81.0(100)	0.8
2	- 8	30.5( 94)	14.9( 76)	12.8( 79)	10.0( 96)	2.1( 88)	70.3( 87)	0
3	- 4	29.7( 91)	13.5( 69)	15.1( 93)	11.7(113)	3.3(138)	73.3( 90)	0
4	- 2	29.3( 90)	12.7( 65)	16.0( 99)	10.7(103)	2.0( 83)	70.7( 87)	0